

第 1 回 区ビジョンまちづくり計画策定特別部会 意見一覧

目指す区のすがた「自然の魅力輝くまち」	
発言者名	課題に関する意見
	自然環境保全
伊藤委員	希少種と外来種駆除の現状はどうなっているか。やるとすれば継続してやっていかないといけない。
横山委員	JC が舟だまりでイベントをした際、砂浜にごみが多かった。クリーン作戦を実施してはどうか。
渡邊委員	小学生に外来種などの環境教育を伝える(買ったものは生きたまま捨てないなど)。
	自然環境活用
伊藤委員	施設利用も活用に含まれる。 歴史文化も魅力ある北区なので魅力を伝える人材の育成は必要。
神田委員	長谷川元市長が造った「はまなす公園」の現状はどうなっているか。(現在花は咲いていない) 菜の花染めを小学校と高校と農協と協働で行った。
横山委員	南浜や松浜にもっと触れてほしい。海辺の森での「ツリークライミング」や「手ぶらで BBQ」ができることを浸透させてほしい。
平松委員	ひょうたん池をもっと PR すべき。駐車場や休憩場所はあるのか。説明してくれる人がいないと魅力が分からない。ボランティアでなく予算を付けてやる。十二潟のような環境整備をしてほしい。
	観光交流
渡邊委員	観光交流の課題に「交通機関のアクセス」とあるが、自分はあまり不便に感じていない。 漁港は大切な資源。松浜漁港にもスポットを当てたい。地引網を PR しないのはもったいない。 住んでいる人の、北区への愛着心の発信。
小日向委員	繰り返し来たくするような工夫が必要。 福島潟の食文化は、現地では飲食施設がないため味わえない。 ビュー福島潟の屋上での飲食。島見浜の夕日を見ながらの飲食ができる施設がほしい。 浜茶屋も後継者不足で減っている。外部から人が来て続けてもらいたい。

本田委員	福島潟をレンジャーから案内してもらったら見る目が変わった。 菜の花がきれい、で終わるのでなく例えば周辺の土産施設もPRして案内してくれるといい。 体験施設は必要。
渡邊委員	子どもが、ナミックスが大企業であることを、ロコミで知った。 何でもネットで知る世代だがロコミは大事。
伊藤委員	小学校で飼っていたカルガモの引越しの動画をテレビ局に紹介したら全国ニュースで扱ってくれた。魅力の発信は大事。 施設を造るのは大変なので、キッチンカーを活用して食のアピールをする。
全体	「意外に知られていない」「情報発信が下手」

目指す区のすがた「未来へ続く活力あるまち」

発言者名	課題に関する意見
	商工業等
前田委員	新潟東港の安全保障をしてほしい。
清水委員	新潟東港の治安の向上。東日本大震災の時など、太平洋側に何かしら発生した際、防災や復興支援に活用すべき。
前田委員	新潟が支援の拠点になった場合、連携して全国に輪を広げたい。港の上手な取り扱いを行う。
佐藤委員	市場で他のことも行ってほしい。若者が行きたくなる場所にしてほしい。 観光に訪れるときに、北区の魅力を紹介する人とマッチング出来る仕組みづくりをしたほうが良い。
皆川委員	観光の整備が必要。
佐藤委員	スイーツ店通り、ラーメン店通り、健康ロードなどで集客すれば良いのではないか。 手軽に店舗を開設するための支援をしてほしい。
	大学との連携
前田委員	大学の特性を活かして、区役所が間に入り連携して、高齢化社会を支援してほしい。
	農水産業
前田委員	耕作放棄地など、農地を活用するための援助をすべき。
前田委員	トマトなどで具体的なブランド作成や特産 PR 事業が出来るのか。
前田委員 本間委員	行政として求心力がほしい。発信のための媒体づくりなどを行ってほしい。
佐藤委員	(特産物については) 栄養価やロカボなどの特性や、体を気にする方への説明なども同時に発信してほしい。
前田委員	市の農業に関する計画案はないか。
本間委員	田んぼ保有者への支援や農地の集積・集約を行い、細分化されすぎないようにすべき。

前田委員	農業の後継者がいないのは、採算率が低いからという面が大きい。国の方針として、農業から産業に転換してくれという働きかけはあるが、農業にももっとサポートがほしい。
前田委員	排水ポンプの改修をしてほしい。 用水路がコンクリートで作られているため、水が集まりすぎて溢れる可能性がある。用水路の改善も視野に入れて。
	道路
前田委員	「北区のメイン通り」みたいな道路があれば、交流人口が増えるのではないか。
前田委員	道路の工事・改善についてのビジョンを明確にしてほしい。
諏訪委員	ござれや阿賀橋を通る113号線周辺の道路を改善してほしい。通学路なのに車が飛ばしている。事故が起こってからでは遅い。土地を購入してあるのに、改善工事が進まない。改善工事が10年以上かかっているのは、心変わりなのか。
	公共交通
清水委員	南北にも格差があるため、自由に行き来しやすいバスをつくってほしい。需要に合った支援、買い物の場所の維持も行ってほしい。
本間委員	高齢化社会に応じた交通をつくってほしい。
前田委員	豊栄駅ぐらいまで高架化出来たら良い。松浜などの踏切がせまい。
発言者名	その他意見
諏訪委員	交番の活性化をし、防犯につなげてほしい。

目指す区のすがた「いきいきと心豊かに暮らせるまち」

発言者名	課題に関する意見
	健康
佐久間委員	高齢者になってからでは遅い。若いころから健康に気を付け健診をうけるよう意識付けすることが大切。また孫からおじいちゃんおばあちゃんに検診に行くよう声かけをしてもらうなど工夫・意識づけなどをするのはどうか。
樺山委員	年をとると、お茶のみなどの話題で健診の話になったりするが、若いころは意識しない気がする。若者が自分から気に留めていけるような環境づくりも大切。
	地域福祉
遠藤委員	DV や貧困など、本人が、そうした状況におかれていることを当然のことと思ひ、受け入れてしまっているのではないか。もっと当事者に対し SOS を出し、改善させる方法もたくさんあることを伝えていくべき。相談などいろいろな支援方法があることを当事者に知ってもらえるような仕組みづくりが重要
本間委員	大変な状況があたりまえ、普通になっている。これが一番の危機ではないか。 自分自身の“いきがい”をもつことが生きる目的になり、すべての行動を起こすことになると思う。“いきがい”があつて自助が芽生え、それが互助へとつながっていくのだと思う。“いきがい”は重要なキーワード
	学校教育
樺山委員	小学校のボランティアをしていたが、じっとしてられない子が多くいた。しかし、支援学級に移行し、専門の指導を受け、高学年になると立派な成長をとげていた子がいた。その子にはそれがよかった。
	子育て
佐久間委員	母親の負担が大きくなっている。支援者不足でありそのため外出できない親もいる。社会全体で子どもを見守る環境づくりが大切。“親だけじゃない”社会に。 困っている母親が相談しやすい雰囲気、環境づくりが必要。

中嶋委員	保育士が足りていない。放課後児童クラブも指導員に欠員があり人が足りない。サポートをする人のサポートが必要。
佐久間委員	北区には学習できる場所がない。豊栄駅にも待っているところがない。木崎地区には児童館もないので長く利用できる学習場所がない。これでは学力が下がっていくのはしかたがない。 もっと、子どもたちで行ける範囲に学習場所をつくってほしい。
	高齢者福祉
清水委員	「もの忘れ健診」は知られていない。周知が必要。 高齢で外にあまり出ない人は、一人で悩んでいる。そうした人に情報を届けられる工夫が必要。
樺山委員	コロナ禍で、人とつながらなくなっている。その影響も大きくなると感じている。
遠藤委員	(子育て)の現状の文章から課題にいく流れが繋がっていないように感じる。もう少し現状をしっかりと記載する必要があるのではないか。「少子高齢化や共働き家庭の増加など、」から「児童虐待や社会的擁護、仕事と子育ての両立などが大きな課題になっている」の流れが。

目指す区のすがた「安心安全で住みよいまち」

発言者名	課題に関する意見
	コミュニティ
鶴巻委員	地域の茶の間の参加者が固定化されており、新しい参加者がなかなか入ってこない
	防犯・交通安全
阿部委員	高齢者による事故が多い 公共交通が弱いため、高齢者が免許返納できない
有田委員	通学路にもかかわらず、歩道がない箇所がある 道路の停止線などの白線が消えており、危険 歩道の手入れがされておらず（草が伸びた状態になっており）、視界が悪く危険
神田委員	コロナ禍において、地域活動（防犯パトロールなど）が制限されている
寺山委員	交通安全や防犯活動の人手が不足している（高齢化含め）
皆川委員	青パトを行う人の人手不足と高齢化。現役世代が参入する仕組みづくりが必要
	防災
阿部委員	若い独身男性などの顔が見えず、いざというときに助け合えるかが不安 災害時、要支援者を民生委員だけで回りきることは不可能
有田委員	個人情報の関係で、要支援者リストを自治会内で共有できる範囲が限られており、自治会の一部の役員しか対象者を把握できていない。 非常時、要支援者を助けるための行動プロセスが明確になっていない。
神田委員	災害時、要支援者や高齢者が避難できる体制の構築が必要 個人情報の関係で、近隣の人顔が見えづらくなっており、いざというときに助け合えるかが不安。
鶴巻委員	民生委員など、それぞれが活動を行っているが、横のつながり同士での情報共有ができていない。
寺山委員	実際に災害が起きたときの、自治会・町内会の動きが明確になっていない。

皆川委員	大雪や地震時のパトロール等の体制は整っているが、大雨時のパトロール体制などが定まっていない。
発言者名	その他意見
山賀委員	「安心安全で住みよいまち」に、コミュニティがあるのはおかしいのではないか。